

世界各国参加者が石川県の里山から 自国の環境保全と地域開発について学ぶ

2018年度課題別研修

「持続可能な自然資源管理による生物多様性保全と
地域振興-SATOYAMA イニシアティブの推進」コース

世界8か国から10名の研修員（コロンビア、ドミニカ共和国、エチオピア、ネパール、ニカラグア、グアテマラ各1名、インド、ソロモン諸島各2名）が9月30日に来日し、東京でのプログラムを経て、10月9日から10月30日まで、石川県において環境保全や環境を活かした地域開発について、様々な関係機関や現場を訪問し学びます。

このコースは2010年から開始され、本年で9回目となります。当時は、能登が日本初の農業世界遺産に登録され、COP10のサイドイベントが金沢で開催される中、本コースが形成されました。

コースに参加する途上国では、農村人口率が高く、都市への出稼ぎなどにより、過疎化が起こり、森林が荒れるなど地域農村社会が成り立たず、問題が発生している地域が多くあります。その解決の糸口は何なのか？

研修員が日本の石川県からヒントを探します。

後半では、今回、石川で見聞した経験を基に研修参加者と意見を交わしながら、自分ではどのようなことに取り組めるかのアイデアを取りまとめ、発表します。

発表会は10月29日(月)に開催します。研修員から見た、石川県、そして彼らにとって何が有効なのかを取材していただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

【アクションプラン発表会】

日時：2018年10月29日(月) 9:30-16:30

場所：近江町プラザ 研修室1

本研修につきまして、取材・報道方、よろしくお願ひいたします。

詳しい日程につきましては、添付資料をご覧ください。

なお、研修時間・実施場所は予定なく変更になる可能性がありますので、必ず事前にご連絡ください。

○研修受託先：一般財団法人 自然環境研究センター

○別添： 研修日程表

当機構は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成のために力を入れて取り組んでおり、本案件は、「環境保全、自然と調和した地域開発」を通じてSDGs 各目標に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



以上

【本件に関する問い合わせ先】

(独) 国際協力機構北陸センター (JICA 北陸) 担当：藤井
TEL 076-233-5931 e-mail : fujii.satoshi@jica.go.jp